秋のふるさと探検号 出発します

10月14日（木） 8時50分　中央公民館集合

参加者募集

対　象・市内にお住まいのかた

※参加料は無料ですが、Aコースは郷土博物館の入館料２００円が必要です。また、両コースとも昼食を持参してください。

申し込み方法

往復はがきの往信用の裏に希望のコース、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、お申し込みください。はがき１枚に２人まで記入できます。

締め切り・９月30日（当日消印有効）

※応募者が多数の場合は抽選のうえ決定し、はがきの代表者のかた全員にお知らせします。

○詳しいことはお気軽にお問い合わせください。

応募とお問い合わせ

〒０１７－８５５５
大館市字中城20番地
大館市役所総務課広報広聴係
☎49－３１１１（内線２５８）

見学コース

Aコース（40人）Bコース（80人）

中央公民館 → 大館広域消防署 → 大館工芸社 → 同和クリーンテックス → 県北部流域下水道事務所 → 鳥潟会館（昼食）→ 県北部老人福祉総合エリア → 郷土博物館 → 北鹿ハリストス正教会聖堂 → 県北部老人福祉総合エリア → 山館浄水場 → 中央公民館（解散）16時予定

市長リポート No.190

ドーム効果が表れてきました

大館樹海ドームは、今年の八月で二周年を迎え、七月には入館者が五十万人を超えました。全国的な知名度も上がってきており、大館の観光における代表的な顔の一つとしてすでに定着しています。また、日本を代表する建造物と認められ、優れたデザインや秋田杉の集成材を使った木材の良さを生かした造り、照明設備などに対して、これまで十もの賞をいただきました。くわえて、期待していた利活用の面でも順調です。特に冬場は、学校や企業の野球、サッカー、陸上競技などスポーツ活動の場として、ほとんど毎日、たくさんの利用をいただきました。

ところで、市民の皆さんがドームによって大館が変わってきたということを今年の夏ほど体感できたときはないでしょう。七月の『B'z』『SMAP』と続いたコンサートでは北東北だけでなく、東北全体から多くのかたが集まりました。大館市はにぎわい交流拠点都市を目指していますが、ドームで開かれるイベントはまさに地域間交流に役立っているわけです。さらにコンサートが地域経済に与えた効果も大きいものがありました。試算してみたところ、大館への経済効果は約五億三千万円と算出されました。もちろん周辺市町村の経済への影響も含めますと、さらに増えるものと思います。

これまで行われたドームのイベントには、市民の皆さんの様々な形での協力が欠かせませんでした。イベントの際の交通渋滞、電話の不通、近くに住んでいるかたへの音漏れなどがありましたが、すべて皆さんの協力のうちに終えることができました。今後もドームを中心に大館を多くのかたに訪れてもらう、そういう街にしていこうではありませんか。樹海ドームは無限の可能性をもった建物だと思います。地域の活性化のために、ドームがその起爆剤となるよう、十分に活用していただきたいと思います。

小畑　元